

大分市西部海岸地区 魅力創造拠点施設形成基本構想

～賑わいと豊かな自然・文化が共存する誰もが魅力を感じる空間の創造～

【 概要版 】



令和4年3月

大分市

序. 本構想の目的と位置づけ

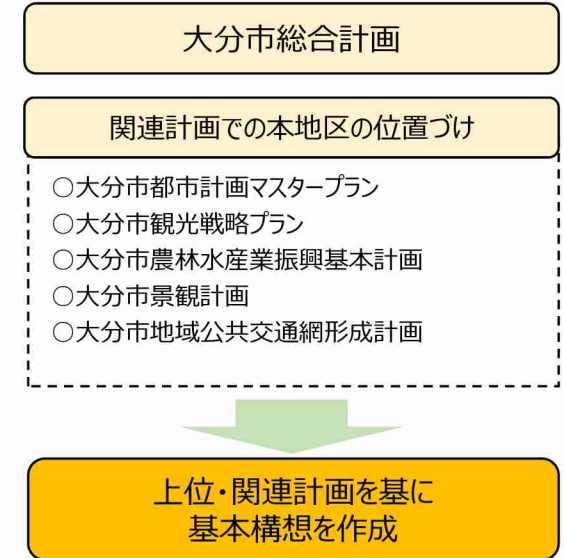
《 目的 》

西部海岸地区は、「高崎山」や「柞原八幡宮」などの豊かな自然・文化に囲まれ、また、「大分マリンパレス水族館うみたまご」や「高崎山自然動物園」をはじめ、様々な観光・レクリエーション施設が集積する地域資源に恵まれた地区です。

地理的には、国内有数の観光地である別府市と隣接し、また、東九州の大動脈である国道10号の沿線に位置しており、潜在的な観光資源が多い地区でもあり「大分市都市計画マスタープラン」などの関連計画においては、「観光資源や海浜を利用したレクリエーションの場を提供することにより市民が憩える空間を創出する地区」として位置づけられています。

このことから、本市では、西部海岸地区の既存の観光資源と連携し誘客の促進に取り組むとともに、この地区に呼び込んだ観光客の方々に市内中心部及び市内各地の観光スポットへ周遊していただける様に、その情報発信などを行う拠点施設の形成が必要であると考えており、西部海岸地区の魅力をさらに高め、観光客の増加などの新たな活力を呼び込むための施設形成に関する基本構想を策定することとしています。

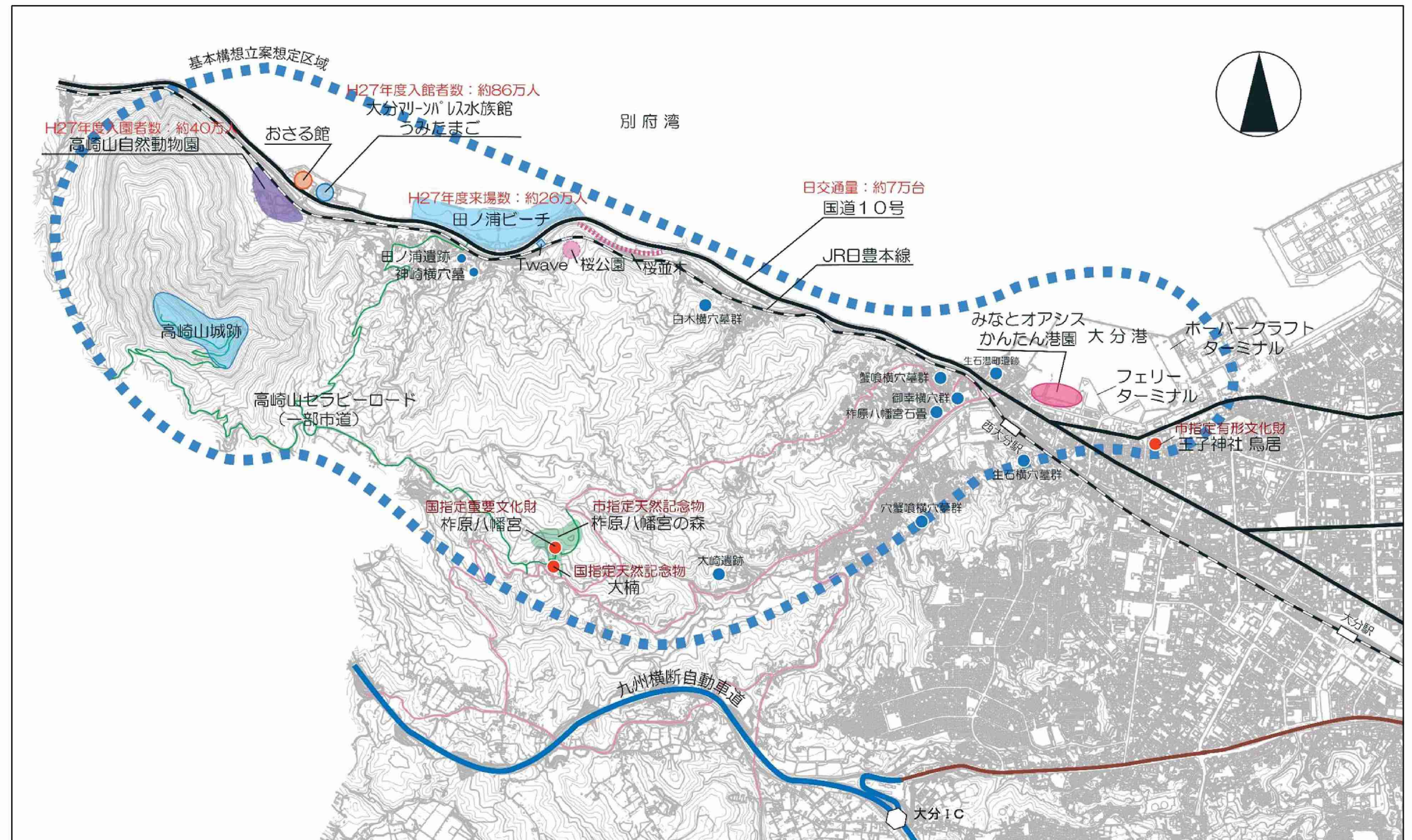
《 本構想の位置づけ 》



大分県全域図



【 基本構想 エリア図 】



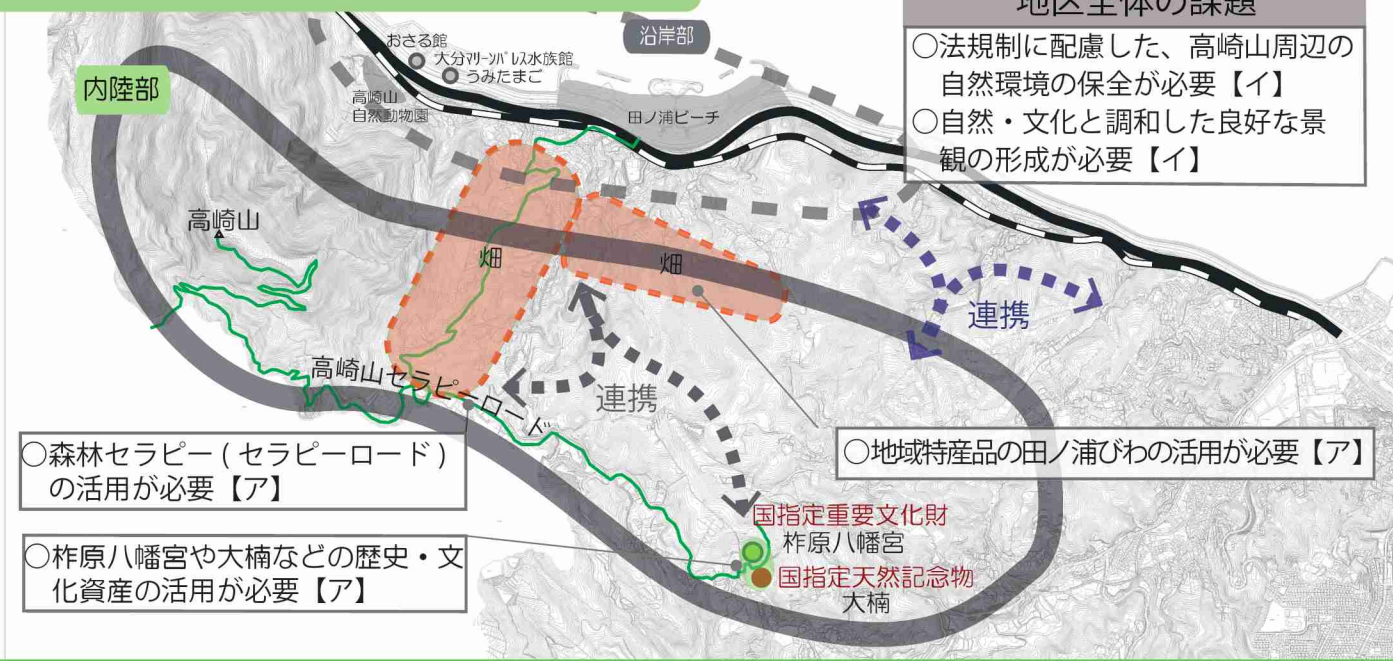
田ノ浦ビーチ



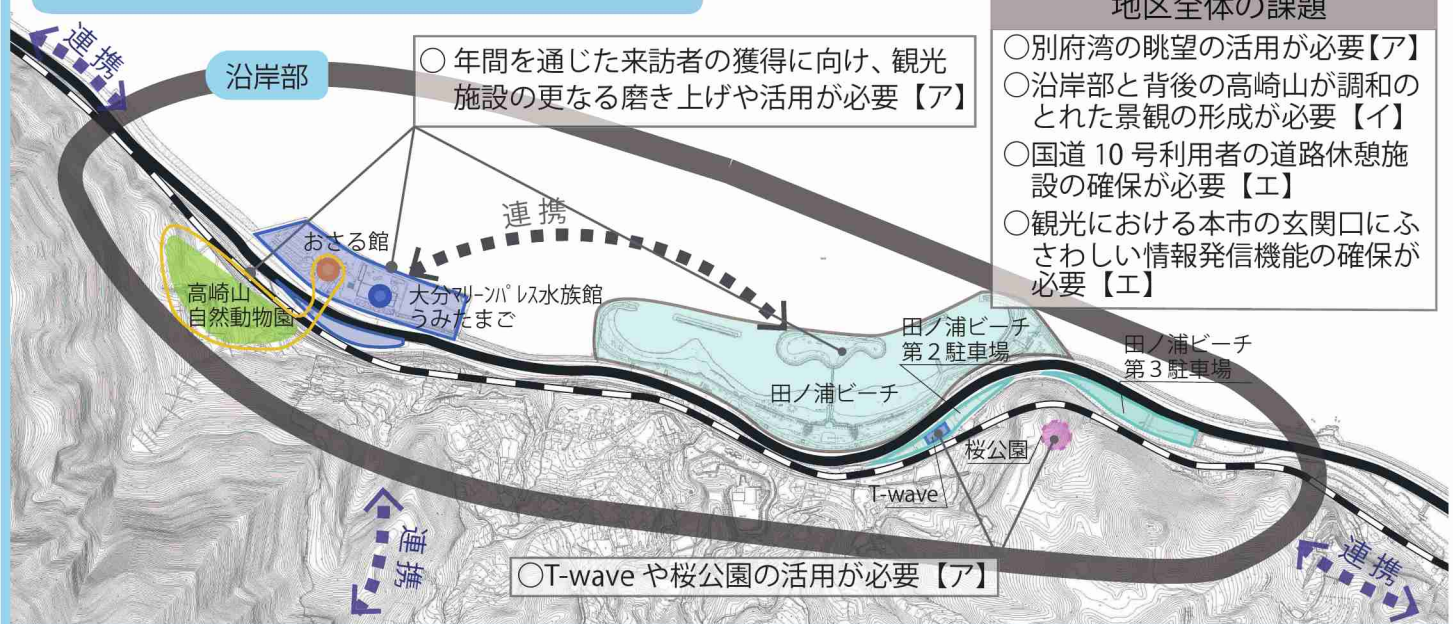
1. 西部海岸地区の魅力創造の課題

地区別の課題

内陸部における魅力創造の課題



沿岸部における魅力創造の課題



大分港周辺における魅力創造の課題



地区共通の課題

- 多様な媒体の活用による情報発信が必要【ウ】
- 魅力発信を中心としたプロモーションの実施が必要【ウ】
- 観光に携わる事業者、団体、行政などの役割の明確化や連携が必要【ウ】
- 地区内の観光資源の連携が必要【エ】
- 広域観光の促進が必要【エ】
- 2次交通の充実が必要【エ】
- 長期滞在プランの造成が必要【エ】
- 訪日外国人のニーズへの対応が必要【オ】
- 来訪者へのおもてなし力の向上が必要【オ】

※文末の【ア～オ】は、「西部海岸地区の5つの課題」との対応関係を示しています。

西部海岸地区の5つの課題

課題【ア】

地域資源の磨き上げと活用による賑わいの創出が必要

課題【イ】

地域の特性に応じた良好な景観の形成が必要

課題【ウ】

観光を推進する体制づくりや戦略的な情報発信が必要

課題【エ】

地域資源の連携・周遊の促進や来訪者の長期滞在を促す取り組みが必要

課題【オ】

快適な観光空間構築のための来訪者の受入環境の整備が必要

II. 西部海岸地区の魅力創造の基本方針

西部海岸地区の5つの課題

課題【ア】

地域資源の磨き上げと活用による
賑わいの創出が必要

課題【イ】

地域の特性に応じた
良好な景観の形成が必要

課題【ウ】

観光を推進する体制づくりや
戦略的な情報発信が必要

課題【エ】

地域資源の連携・周遊の促進や
来訪者の長期滞在を促す取り組みが必要

課題【オ】

快適な観光空間構築のための
来訪者の受入環境の整備が必要

西部海岸地区の魅力創造の基本方針

目標

賑わいと豊かな自然・文化が共存する
誰もが魅力を感じる空間の創造

西部海岸地区の多様な魅力の磨き上げと活用により
誰もが訪れたい空間を形成する。

基本方針

- 地域資源を活用した**観光**の促進
 - ・観光施設や特産品、豊かな自然・文化などの地域資源を活用し、観光を促進する。
- 来訪者と市民が集える**憩い**の場の形成
 - ・既存施設を活用し、地域への来訪者や市民双方が交流できる憩いの場を形成する。
- 地域特性に応じた**自然・景観**の形成
 - ・地域の特性に応じた、周囲と調和のとれた自然・景観を形成する。

エリア別の方針

各エリア共通の方針

- 戦略的な情報発信
 - 【施策】①マスメディアやSNSなどの多様な媒体及びインフルエンサーの活用
 - ②本地区を舞台とした映画、ドラマ、アニメ等を活用した観光プロモーションの実施
 - ③官民連携・協働により、観光・物産フェアを活用した観光プロモーションの実施
- 観光を促進する体制づくり
 - 【施策】④市民、地域、NPO団体、観光関連事業者、大分市観光協会、行政の役割の明確化や相互の連携・協働の推進
- 来訪者の長期滞在を促す取り組みの実施
 - 【施策】⑤グリーンツーリズム等の滞在型観光の推進
 - ⑥広域周遊ルートや旅行商品の創出
- 地域資源の連携促進や周遊性の強化
 - 【施策】⑦本地区内における観光施設等が連携し地区全体を盛り上げるイベント等の実施や共通入場券等の導入
 - ⑧県内の市町村と連携し、それぞれの観光特性を取り入れた広域観光周遊ルートの形成
 - ⑨本地区内、別府市、本市中心部を結ぶ自転車走行空間の確保とサイクルポートの整備
 - ⑩自動運転やモビリティシステムの導入に向けた検討
- 来訪者の受入環境の整備
 - 【施策】⑪Wi-Fi環境の整備
 - ⑫観光案内板、公共交通機関の多言語化
 - ⑬新たな観光需要を掘り起こす取り組みの開発
 - ⑭観光関係事業者等のさらなるおもてなし力の向上

自然・歴史体験エリア（内陸部）

- 自然・文化や地域特産物など既存の地域資源を活用した交流の促進
 - 【施策】①高崎山（セラピーロード）や柞原八幡宮、大楠を活用した自然・歴史体験プログラムの開発
 - ②田ノ浦びわを活用した体験プログラムや加工品などの開発
- 豊かな自然環境の保全と自然・文化と調和のとれた景観の形成
 - 【施策】③高崎山周辺の自然環境の保全を図るとともに、自然・文化と調和のとれた景観の形成

海辺の体験エリア（沿岸部）

- 集客力のある観光施設の魅力の磨き上げと年間を通じた賑わいの創出
 - 【施策】①観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用
- 観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進
 - 【施策】②観光における本市の玄関口として、地域資源や情報の発信・提供機能及び休憩機能を担い、森林セラピーやサイクリングなどの拠点となる憩い・交流拠点施設の整備
 - ③桜公園やT-wave・田ノ浦ビーチなどを結ぶ歩行者動線の確保
 - ④地域の玄関口となる新駅の検討の実施
 - ⑤国道10号等において、歩行者、自転車利用者等が安全・快適に移動できる道路空間の環境整備
- 既存資源を活用した交流の場の形成
 - 【施策】⑥T-waveを活用した市民が集える場の形成
 - ⑦桜公園等、かつてあった施設の整備による魅力づくり
 - ⑧風光明媚な風景が広がる別府湾を活かし、昼夜を問わず眺望出来るビューポイントの整備
- 沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観の形成
 - 【施策】⑨沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成

みなとオアシスエリア（大分港周辺）

- 既存施設を活用した洗練された空間の創造による賑わいの創出
 - 【施策】①かんたん港園内のライブハウスやイベントホールなどの施設を活用したイベントの開催
 - ②遊休倉庫を活用した来訪者や市民の交流の場の形成
 - ③工場夜景を楽しむナイトクルーズ企画などの実施
- 九州の東の玄関口としてのゲートウェイ機能の強化・充実による連携・周遊の促進
 - 【施策】④JR西大分駅と国道10号、大分港（西大分地区）が効果的に連携する交通機能の強化
 - ⑤西大分駅や大分市中心部から大分港までの動線の確保
 - ⑥かんたん港園、ホーバークラフトターミナル、国道10号、JR西大分駅周辺が連携し、みなとオアシスとしての景観形成を図るなど、地域活性化に繋がる交流の場の創出
 - ⑦かんたん港園やフェリー乗場、ホーバークラフトターミナル周辺の交通円滑化及び動線の確保
- ウォーターフロントにふさわしい高質な空間の形成
 - 【施策】⑧ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成
 - ⑨良好な景観を楽しむことができるかんたん港園やホーバークラフトターミナルなどの視点場としての活用

III. 西部海岸地区の魅力創造の方針

- ◆ 各地区の地域特性等に応じ3つのエリアに分類
- ◆ 西部海岸地区の交流促進や賑わいの創出などの魅力創造の方針をエリアごとに整理

基本方針

- 地域資源を活用した**観光**の促進
- 来訪者と市民が集える**憩い**の場の形成
- 地域特性に応じた**自然・景観**の形成

海辺の体験エリア (沿岸部) の方針

- 集客力のある観光施設の魅力の磨き上げと年間を通じた賑わいの創出
- 観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進
- 既存施設を活用した交流の場の形成
- 沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観の形成

みなとオアシスエリア (大分港周辺) の方針

- 既存施設を活用した洗練された空間の創造による賑わいの創出
- 九州の東の玄関口としてのゲートウェイ機能の強化・充実による連携・周遊の促進
- ウォーターフロントにふさわしい高質な空間の形成

各エリア共通の方針

- 戦略的な情報発信

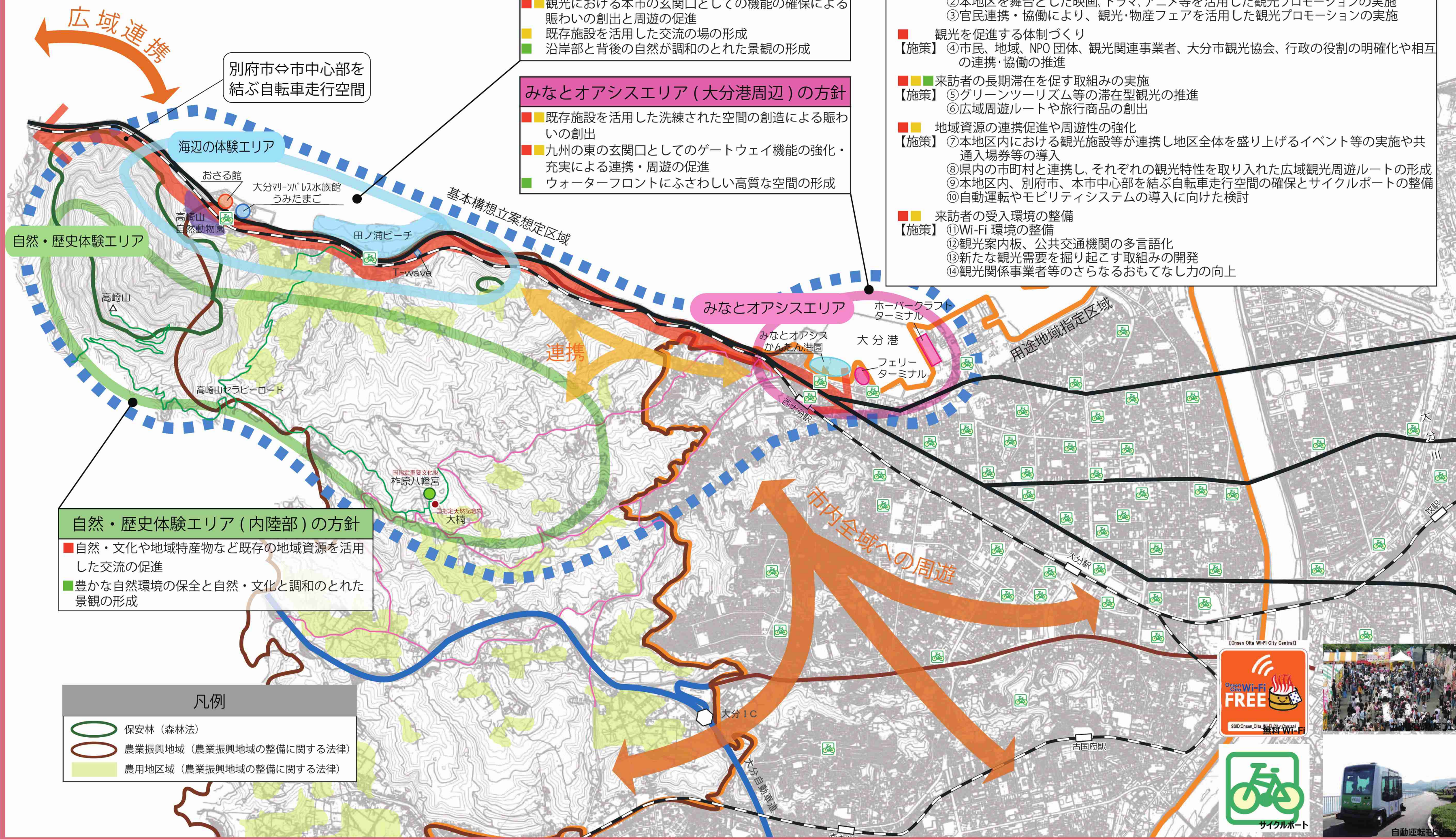
【施策】 ①マスメディアやSNSなどの多様な媒体及びインフルエンサーの活用
②本地区を舞台とした映画、ドラマ、アニメ等を活用した観光プロモーションの実施
③官民連携・協働により、観光・物産フェアを活用した観光プロモーションの実施
- 観光を促進する体制づくり

【施策】 ④市民、地域、NPO 団体、観光関連事業者、大分市観光協会、行政の役割の明確化や相互の連携・協働の推進
- 来訪者の長期滞在を促す取り組みの実施

【施策】 ⑤グリーンツーリズム等の滞在型観光の推進
⑥広域周遊ルートや旅行商品の創出
- 地域資源の連携促進や周遊性の強化

【施策】 ⑦本地区内における観光施設等が連携し地区全体を盛り上げるイベント等の実施や共通入場券等の導入
⑧県内の市町村と連携し、それぞれの観光特性を取り入れた広域観光周遊ルートの形成
⑨本地区内、別府市、本市中心部を結ぶ自転車走行空間の確保とサイクルポートの整備
⑩自動運転やモビリティシステムの導入に向けた検討
- 来訪者の受入環境の整備

【施策】 ⑪Wi-Fi 環境の整備
⑫観光案内板、公共交通機関の多言語化
⑬新たな観光需要を掘り起こす取り組みの開発
⑭観光関係事業者等のさらなるおもてなし力の向上



別府市⇄市中心部を結ぶ自転車走行空間

海辺の体験エリア

おさる館
大分マリナバード水族館
うみたまご
高崎山自然動物園
田ノ浦ビーチ
T-wave

自然・歴史体験エリア

高崎山
高崎山セラピーロード
国指定重要文化財 杵原八幡宮
国指定天然記念物 大楠

自然・歴史体験エリア (内陸部) の方針

- 自然・文化や地域特産物など既存の地域資源を活用した交流の促進
- 豊かな自然環境の保全と自然・文化と調和のとれた景観の形成

凡例

- 保安林 (森林法)
- 農業振興地域 (農業振興地域の整備に関する法律)
- 農用地区域 (農業振興地域の整備に関する法律)



IV-i. 自然・歴史体験エリアの魅力創造の方針

基本方針

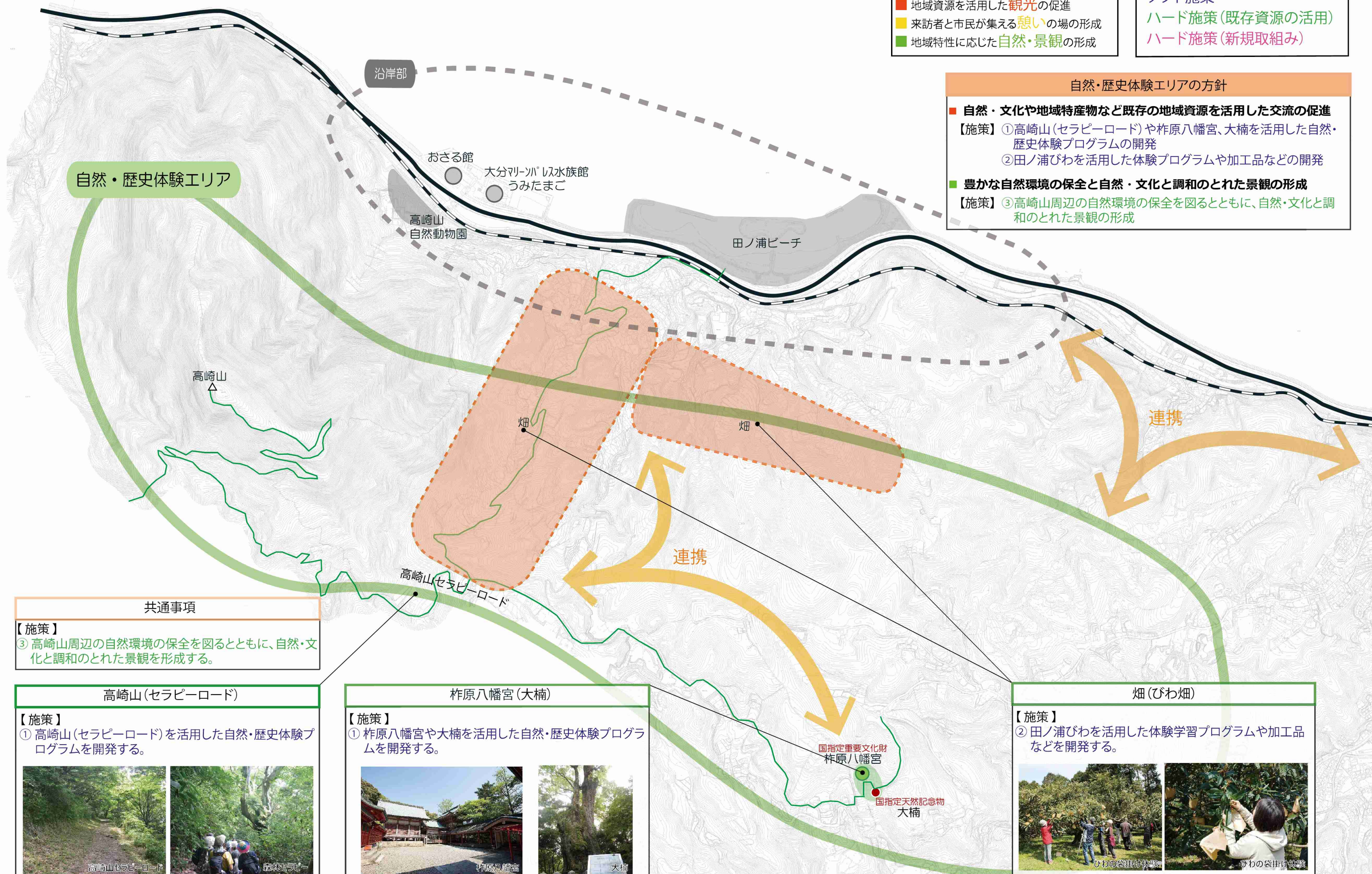
- 地域資源を活用した観光の促進
- 来訪者と市民が集える憩いの場の形成
- 地域特性に応じた自然・景観の形成

ソフト施策

- ハード施策(既存資源の活用)
- ハード施策(新規取組み)

自然・歴史体験エリアの方針

- 自然・文化や地域特産物など既存の地域資源を活用した交流の促進
 - 【施策】①高崎山(セラピーロード)や杵原八幡宮、大楠を活用した自然・歴史体験プログラムの開発
 - ②田ノ浦びわを活用した体験プログラムや加工品などの開発
- 豊かな自然環境の保全と自然・文化と調和のとれた景観の形成
 - 【施策】③高崎山周辺の自然環境の保全を図るとともに、自然・文化と調和のとれた景観の形成



自然・歴史体験エリア

沿岸部

おさる館
大分マリパ[®]水族館
うみたまご

高崎山
自然動物園

田ノ浦ビーチ

高崎山

畑

畑

連携

連携

共通事項

【施策】
③ 高崎山周辺の自然環境の保全を図るとともに、自然・文化と調和のとれた景観を形成する。

高崎山(セラピーロード)

【施策】
① 高崎山(セラピーロード)を活用した自然・歴史体験プログラムを開発する。



杵原八幡宮(大楠)

【施策】
① 杵原八幡宮や大楠を活用した自然・歴史体験プログラムを開発する。



畑(びわ畑)

【施策】
② 田ノ浦びわを活用した体験学習プログラムや加工品などを開発する。



国指定重要文化財
杵原八幡宮
国指定天然記念物
大楠

IV- ii .海辺の体験エリアの魅力創造の方針

基本方針

- 地域資源を活用した**観光**の促進
- 来訪者と市民が集える**憩い**の場の形成
- 地域特性に応じた**自然・景観**の形成

ソフト施策

- ハード施策(既存資源の活用)
- ハード施策(新規取組み)

共通事項

- 【施策】
- ⑧ 風光明媚な風景が広がる別府湾を活かし、昼夜を問わず眺望出来るビューポイントを整備する。
 - ⑨ 沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観を形成する。



※「大分きれい100選事業」受賞作品

大分マリンパレス水族館 うみたまご

- 【施策】
- ① 観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用を図る。



連携

田ノ浦ビーチ(恋人の聖地)

- 【施策】
- ① 観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用を図る。



歩行者動線の確保

- 【施策】
- ③ 桜公園やT-wave・田ノ浦ビーチなどを結ぶ歩行者動線を確保する。

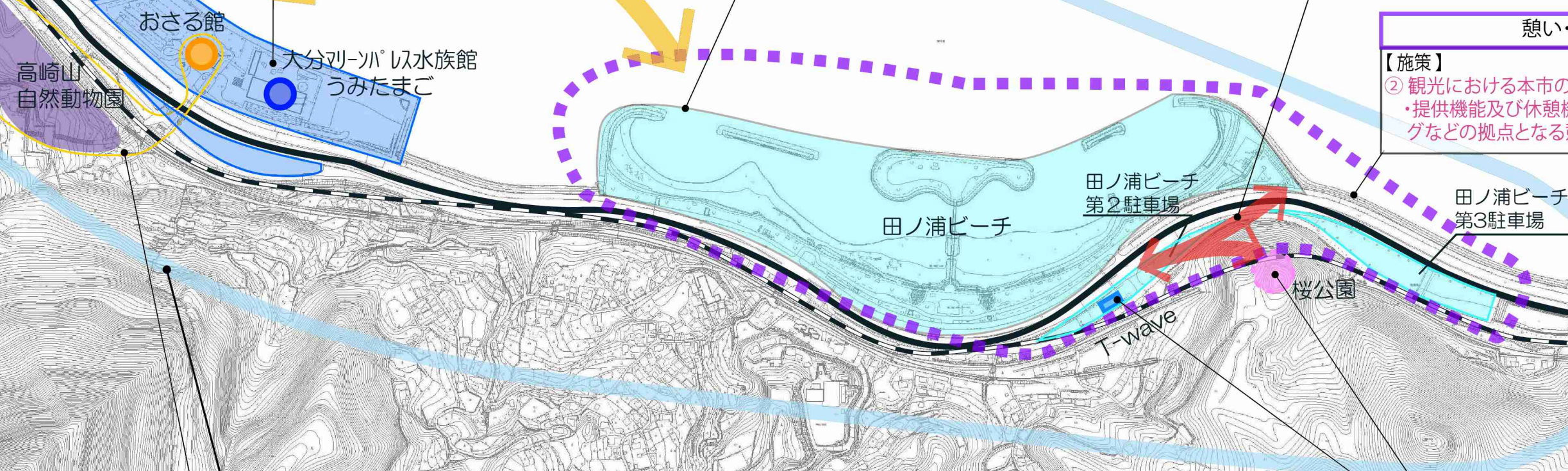
海辺の体験エリアの方針

- 集客力のある観光施設の魅力の磨き上げと年間を通じた賑わいの創出
 - 【施策】① 観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用
- 観光における本市の玄関口としての機能の確保による賑わいの創出と周遊の促進
 - 【施策】② 観光における本市の玄関口として、地域資源や情報の発信・提供機能及び休憩機能を担い、森林セラピーやサイクリングなどの拠点となる憩い・交流拠点施設の整備
 - ③ 桜公園やT-wave・田ノ浦ビーチなどを結ぶ歩行者動線の確保
 - ④ 地域の玄関口となる新駅の検討の実施
 - ⑤ 国道10号等において、歩行者、自転車利用者等が安全・快適に移動できる道路空間の環境整備
- 既存資源を活用した交流の場の形成
 - 【施策】⑥ T-waveを活用した市民が集える場の形成
 - ⑦ 桜公園等、かつてあった施設の整備による魅力づくり
 - ⑧ 風光明媚な風景が広がる別府湾を活かし、昼夜を問わず眺望できるビューポイントの整備
- 沿岸部と背後の自然が調和のとれた景観の形成
 - 【施策】⑨ 沿岸部と背後の高崎山が調和のとれた景観の形成

憩い・交流拠点施設の設置

- 【施策】
- ② 観光における本市の玄関口として、地域資源や情報の発信・提供機能及び休憩機能を担い、森林セラピーやサイクリングなどの拠点となる憩い・交流拠点施設を整備する。

海辺の体験エリア



高崎山自然動物園(おさる館)

- 【施策】
- ① 観光施設の更なる魅力の磨き上げと活用を図る。



高崎山自然動物園(サル寄せ場)

高崎山自然動物園(サル寄せ場)

新駅の検討

- 【施策】
- ④ 地域の玄関口となる新駅の検討を実施する。

連携

T-wave

- 【施策】
- ⑥ T-waveを活用した市民が集える場を形成する。



T-wave外観

T-wave内装

桜公園

- 【施策】
- ⑦ 桜公園等、かつてあった施設の整備による魅力づくり



桜並木(イメーン)

桜並木(イメーン)

※「大分きれい100選事業」受賞作品

IV-iii. みなとオアシスエリアの魅力創造の方針

みなとオアシスエリアの方針

- ■ 既存施設を活用した洗練された空間の創造による賑わいの創出
 - 【施策】①かんたん港園内のライブハウスやイベントホールなどの施設を活用したイベントの開催
 - ②遊休化倉庫を活用した来訪者や市民の交流の場の形成
 - ③工場夜景を楽しむナイトクルーズ企画などの実施
- ■ 九州の東の玄関口としてのゲートウェイ機能の強化・充実による連携・周遊の促進
 - 【施策】④JR西大分駅と国道10号、大分港(西大分地区)が効果的に連携する交通機能の強化
 - ⑤西大分駅や大分市中心部から大分港までの動線の確保
 - ⑥かんたん港園、ホーバークラフトターミナル、国道10号、JR西大分駅周辺が連携し、みなとオアシスとしての景観形成を図るなど、地域活性化に繋がる交流の場の創出
 - ⑦かんたん港園やフェリー乗場、ホーバークラフトターミナル周辺の交通円滑化及び動線の確保
- ウォーターフロントにふさわしい高質な空間の形成
 - 【施策】⑧ウォーターフロントを中心とした良好な景観の形成
 - ⑨良好な景観を楽しむ事ができるかんたん港園やホーバークラフトターミナルなどの視点場としての活用

みなとオアシスかんたん港園

- 【施策】
- ①かんたん港園内のライブハウスやイベントホールなどの施設を活用したイベントを開催する。
- ②遊休化倉庫を活用した来訪者や市民の交流の場を形成する。
- ⑧ウォーターフロントを中心とした良好な景観を形成する。



基本方針

- 地域資源を活用した観光の促進
- 来訪者と市民が集える憩いの場の形成
- 地域特性に応じた自然・景観の形成

ソフト施策

- ハード施策(既存資源の活用)
- ハード施策(新規取組み)

創造・表現地区

既存施設を活かしながら、仕組みや仕掛けを再構築して、創造的で個性のある親水性の高い景観を創出する。

元気回復地区

別府湾を一望できる視点場として、自由でゆったりとした時間を過ごすことができるような仕組みを構築するとともに、賑わい創出のためのオープンスペースの確保を図る。

ホーバークラフトターミナル



フェリーターミナル

- 【施策】
- ③工場夜景を楽しむナイトクルーズ企画などを実施する。



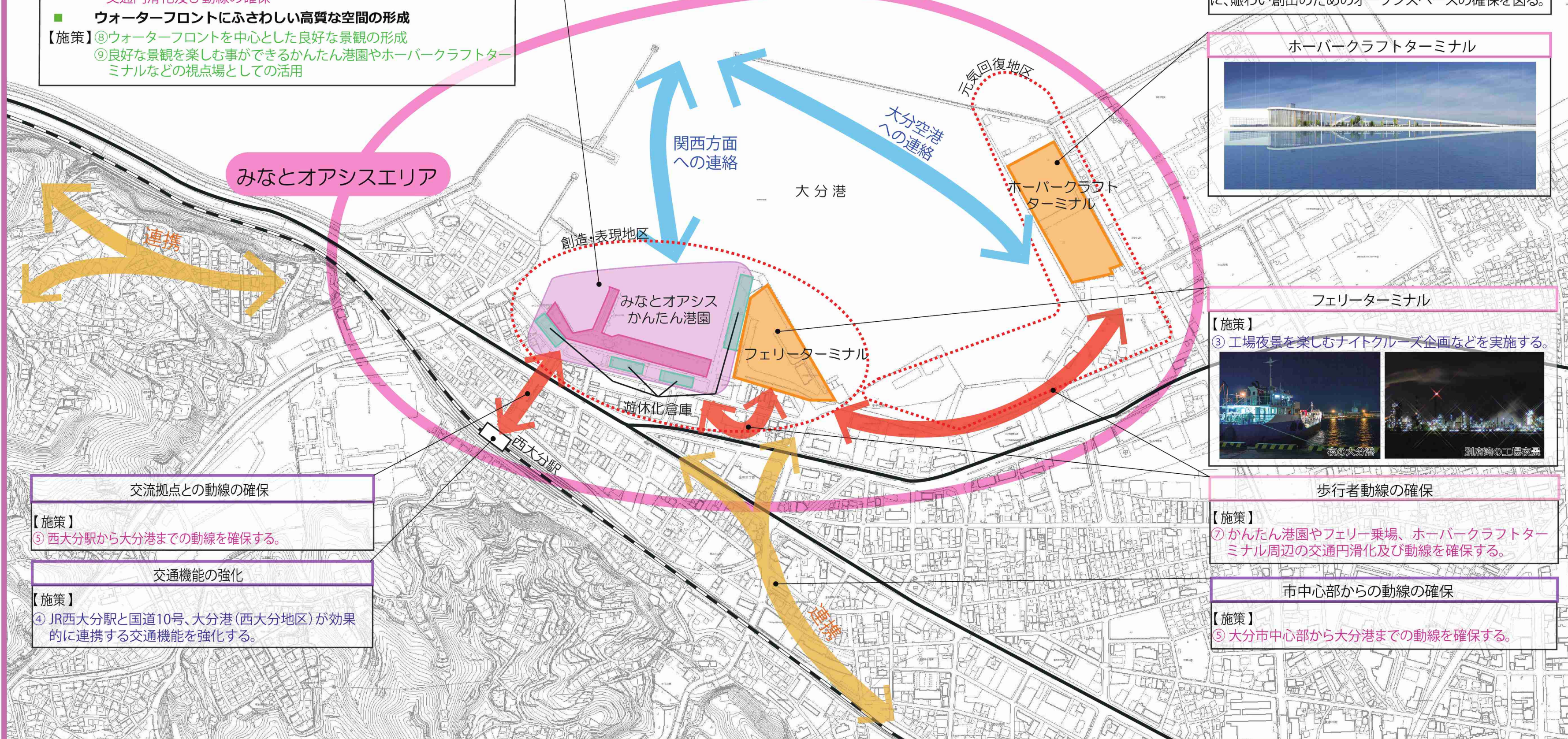
歩行者動線の確保

- 【施策】
- ⑦かんたん港園やフェリー乗場、ホーバークラフトターミナル周辺の交通円滑化及び動線を確保する。

市中心部からの動線の確保

- 【施策】
- ⑤大分市中心部から大分港までの動線を確保する。

みなとオアシスエリア



交流拠点との動線の確保

- 【施策】
- ⑤西大分駅から大分港までの動線を確保する。

交通機能の強化

- 【施策】
- ④JR西大分駅と国道10号、大分港(西大分地区)が効果的に連携する交通機能を強化する。